

園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報

RENDEZVOUS

(ランデブー)

「読書は最高の自己投資」

人間教育学部長 上野 恭裕

私は元来、風来坊である。一年間に国内外含めて10回はフラッと旅をする。旅先の読書も楽しみの一つである。日常でも読書環境には恵まれている。しかし旅先での読書は私に格別の思い出と感慨を与えてくれる。

国内では地方書店を巡りそこで書物を購入する。海外では空港で書物を検討する。私にとっては旅と読書はワンセットである。飽き性の私が読書・旅・ジム通いだけは今やそれが生活の一部になっている。

人間の一生で経験する量はたかが知れている。読書はその経験量を容易く補ってくれる一つのツールと言える。私は乱読派であるが故に、本のジャンルは問わない。また性格上、一冊の本を集中して読めないで、絶えず手元に三冊の本を置いている。週末はお気に入りの本や雑誌をカバンに入れて、ジムとカフェでの読書が楽しみでもある。

旅先での読書も含めて「読書環境」を変えることが私の書物との付き合いの特徴でもある。だから研究室や自宅でじっくりと読書するのは私の性分ではない。研究室ではソファで自宅ではベッドで本を手にする。「私は今、熱心に読書していますよ」というタイプではない。その意味で私は研究者が文献を読むような雰囲気での読書は苦手である。読書は私にとってはその程

度のものであるが、人生に欠くことのできない友でもある。

読書の大切さを教えてくれたのは故今東光和尚の「極道辻説法」という週刊誌での人生相談の記述であったように思う。「本は読んでも読まれるな」という言葉は今も記憶している。その「極道辻説法」(集英社)は今も研究室の書架にある。この書物だけは捨てられない。

最近は通勤電車内でも読書している姿がめっきり少なくなったように思う。しかし通勤電車も素晴らしい読書環境の一つであり、24時間の中で読書時間を改めて確保するのが困難な忙しい人ほどこその空間を利用すべきではないか。だから私は鞆にはいつも何冊かの書物をしのばせている。荷物が重くなるのが難点だが。

重い鞆を抱えて毎日、必ず書店に顔を出してから帰宅するのが私の日常である。



小学校1年生の上野学部長

News & Topics

「利用しやすい図書館をめざして」

— 図書資料を見やすく、探しやすく、使いやすく —

本図書館（1965年創設）は、学生数2,000名ほどに対し、蔵書数約29万冊、逐次刊行物約1,200タイトル、視聴覚資料約14,000点、電子ジャーナル(フルテキスト)約2,000タイトルの図書資料を提供している。

文学部として開学された経緯から、近松門左衛門の浄瑠璃や万葉集およびその周辺に関する写本・版本を蔵する吉永文庫、「ヴィクトリア朝英国詩集」のコレクション、文学者の個人全集など、文学関係の資料が充実しているが、現在は、学部新設による新たな蔵書群の充実を進めながら、図書資料の有効的な活用促進に重点を置いている。

学習支援面では、学年進行に対応した「図書館利用ガイダンス」や「相互利用」等のレファレンスサービスに加え、図書館情報ポータルサイト『My Library』によりサービスの拡充に努めている。とくに重要視していることは、学習に必要な図書がほしいときにすぐに手に入る環境づくりである。現在、実習支援室などを対象とした「別置図書制度」により、実習、国家試験、資格試験、採用試験等に役立つ図書の配置をおこなっている。また、図書資料への興味・関心が高まるよう、書店にて直接図書を選ぶ「選書ツアー」等のイベントも開催している。地域貢献面では、尼崎市、伊丹市、西宮市在住の市民を対象とした地域開放。施設設備面では、定期的な図書整理・蔵書点検により固定資産の把握をおこない、不明図書の補充、重複図書資料の除却等収納スペースの確保と図書資料探索の迅速化に努めている。

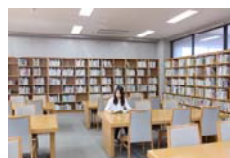
2010年度

- ・ 図書館管理システムの変更 (iLiswave-J)
- ・ 利便性の高い電子ジャーナルへの切り替え
(日経テレコン21、Academic Search Elite)
- ・ 絵本書架の増設と絵本配列方法をタイトル順に変更
- ・ 地域開放 (尼崎市) 登録者数 73名

OPAC(蔵書検索)の画面変更



新しい機能『My Library』



2011年度

- ・ 全館書庫整理・移動 (3年計画1年目) : 電動式集密書架内「和雑誌」1,156タイトル
- ・ 「雑誌架」配列変更、「年鑑・白書コーナー」新設
- ・ 重複図書資料等の除却 5,954冊
- ・ 地域開放 (伊丹市・西宮市へ拡充) 登録者数 85名 (新規64名・更新21名)
- ・ 学生との協働による図書館利用促進ポスターの制作
- ・ 図書館ホームページリニューアル
- ・ 図書館利用ガイド・フロアマップの制作



2012年度以降 (予定)

- ・ 全館書庫整理・移動 (3年計画2年目) : 電動式集密書架内「洋雑誌」約260タイトル、「和図書」4階(NDC 920~999)約1万冊・5階(NDC 000~139)約1万冊を5階電動式集密書架に移動し、収納スペースを確保。
(3年計画3年目) : 4階・5階「和図書」全体の移動約15万冊
- ・ 図書館3階フロア配置変更 : 図書資料紹介展示ブース・学習ルームの新設
- ・ NDC (日本十進分類法) 9版による分類番号の見直し

『My Library (学生・教職員専用ページ)』を活用しよう！—購入希望図書編—

『My Library』でできることは？

- 返却期限の確認
- 貸し出し中の資料の予約
- 購入希望図書の申請
- 文献複写・図書貸借の依頼

【購入希望図書を利用する】

- ・1年間で10冊まで購入することができる。
(ただし、品切れ・絶版・内容が不適切などの理由で購入できないこともある。)
- ・本が届いたら、最初に借りることができる。

【購入希望図書を申請する】

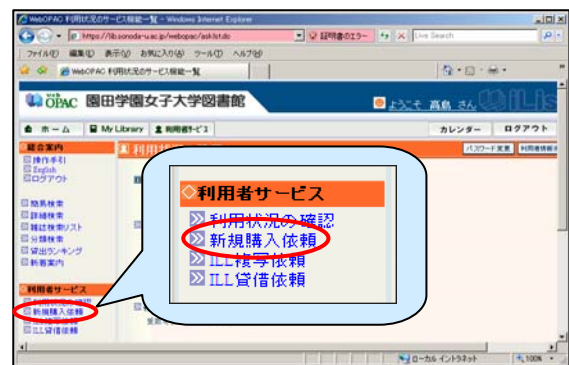
- ① 図書館のホームページを開く。
- ② 【My Library (学内者のみ)】からアクセス



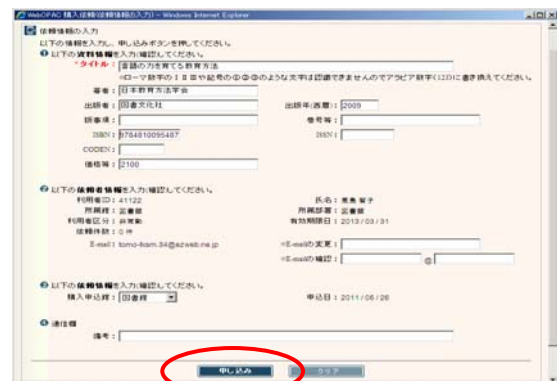
③セキュリティ上の確認画面が表示



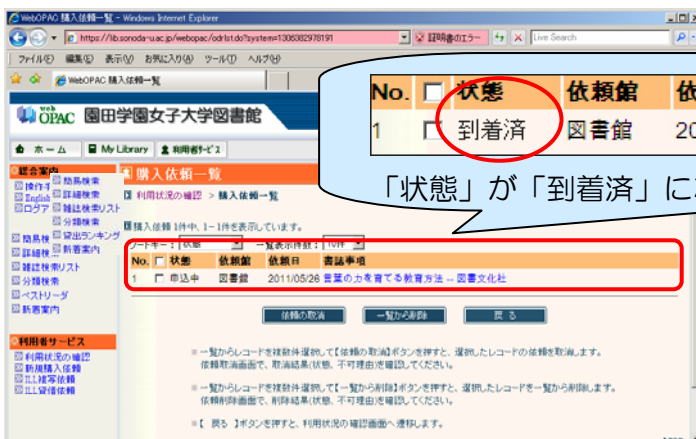
④利用者サービスの新規購入依頼をクリック



⑤【依頼情報の入力】画面で、購入依頼する図書の情報を入力し、「申し込み」をクリック



⑥【依頼内容の確認】画面で、確認してよければ「決定」をクリック

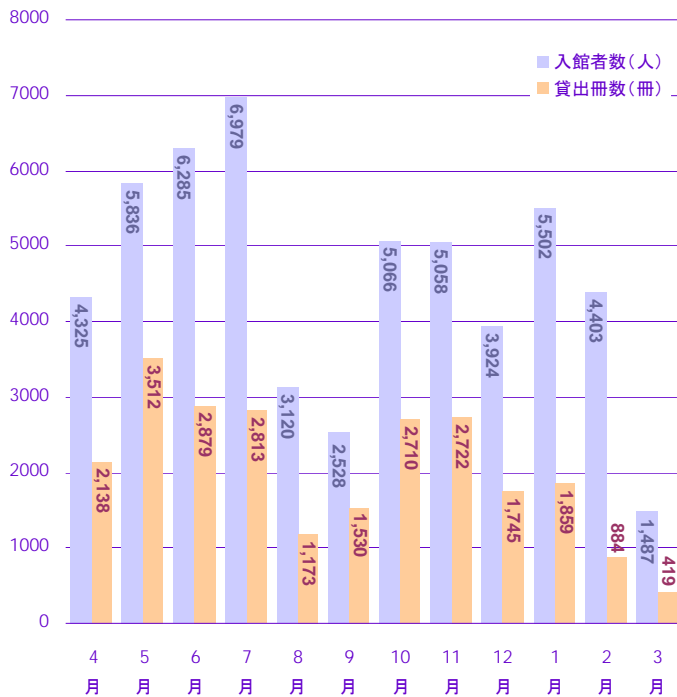


⑦図書が届いたら、カウンターにて貸出手続きをおこなう。在庫があれば、約一週間で届く。納品されたかどうかの確認は、【利用状況の確認】画面で。

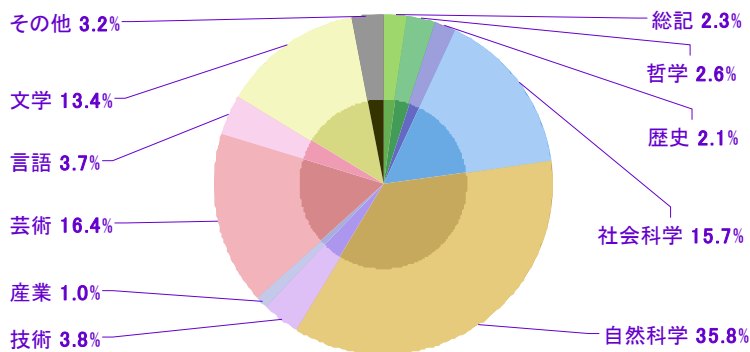
使い終わったら必ず「ログアウト」してください。

Library Data (2011年度 利用統計)

《図書館 月別入館者数/貸出冊数》



《図書館 分野別貸出比率》



《貸出状況》 近松研究所含む ()内 2010年度

利用者区分	貸出冊数	利用者数
学 生	14,337 冊 (15,478)	6,730 人 (7,200)
教 職 員	3,615 冊 (4,312)	1,152 人 (1,423)
そ の 他	6,499 冊 (5,270)	2,897 人 (2,365)
合 計	24,451 冊 (25,060)	10,779 人 (10,988)

《受入状況》 近松研究所含む ()内 2010年度

資料区分	受 入 数	累 計
図 書	和 書 4,043 冊 (4,875)	245,264 冊 (246,957)
	洋 書 63 冊 (56)	41,103 冊 (41,115)
	合 計	4,106 冊 (4,931)
逐次刊行物	385 タイトル (362)	1,285 タイトル (2,640)
視聴覚資料	476 点 (577)	14,171 点 (13,823)

《相互協力利用状況》 ()内 2010年度

利用区分	受 付	依 頼
文献複写	365 件 (331)	606 件 (411)
図書貸借	25 件 (18)	7 件 (36)
閲 覧	0 件 (5)	0 件 (19)
合 計	390 件 (354)	613 件 (466)

《AVブースコーナー 視聴数》 2,133 件

《レファレンス(文献所在調査・利用指導など)》 514 件

編集後記

私たち図書館職員には、利用者のみなさまからいただきたい言葉があります。それは、「図書館には自分の居場所がある」ということ。「図書資料を見やすく、探しやすい、使いやすく」を合い言葉に、これからも改革に取り組んでまいります。ご注目ください。(上野・灘井)

RENDEZVOUS 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報 No.39

【発行日】平成24年6月30日 【発行所】園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館
〒661-8520 尼崎市南塚口町7丁目29-1 Tel: 06-6429-9931 Fax: 06-6429-2822
http://www.sonoda-u.ac.jp/tosyo/ E-mail: lib@sonoda-u.ac.jp

誌名「RENDEZVOUS」の由来

1998年3月発行の25号から「図書館ニュース」を誌名変更。一谷宣宏理事長の命名によるもので、「図書館は、様々な知との出逢いの場であり、本学を離れて後もその知が必要などときには出逢いを求めて来ることができる」という意味を持っている。